

令和7年3月17日

お知らせ

課 名	人権・男女共同参画課
担 当	田淵・小野
内 線	2922
直 通	086-226-7407

人権問題に関する県民意識調査の結果がまとまりました

第6次岡山県人権政策推進指針策定の参考とするとともに、効果的な施策推進を図ることを目的として、社会経済情勢等の変化に伴う県民の人権意識を調査し、その結果を取りまとめたので、お知らせします。

なお、調査結果の詳細については、岡山県人権・男女共同参画課のホームページ(<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/355/>)を御確認ください。

記

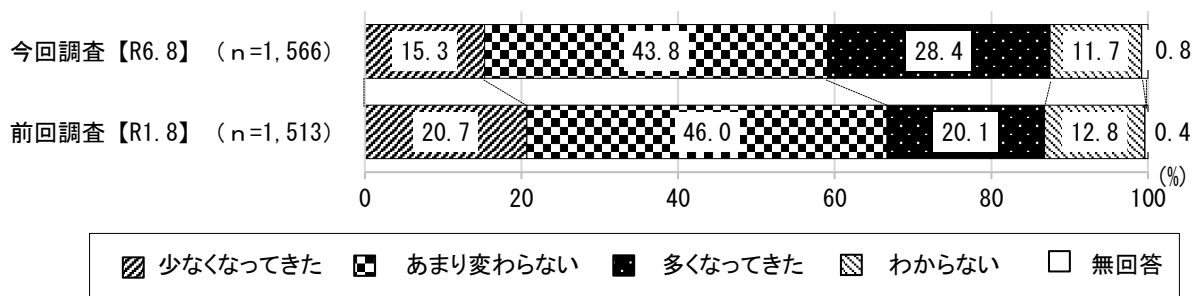
1 調査の概要

- (1) 調査対象 18歳以上の男女3,000人(県内全市町村から無作為抽出)
- (2) 調査方法 郵送配付、郵送回収及びWEB回収
- (3) 調査時期 令和6年8月1日～令和6年8月31日
- (4) 調査内容 重要だと思う人権問題など人権全般について
女性、子ども、高齢者等主な人権問題に関する意識について
人権問題の解決のための方策等について 計34項目
- (5) 回収結果 有効回収数(率) : 1,566人(52.4%)

2 調査結果

(1) 人権侵害の状況の推移

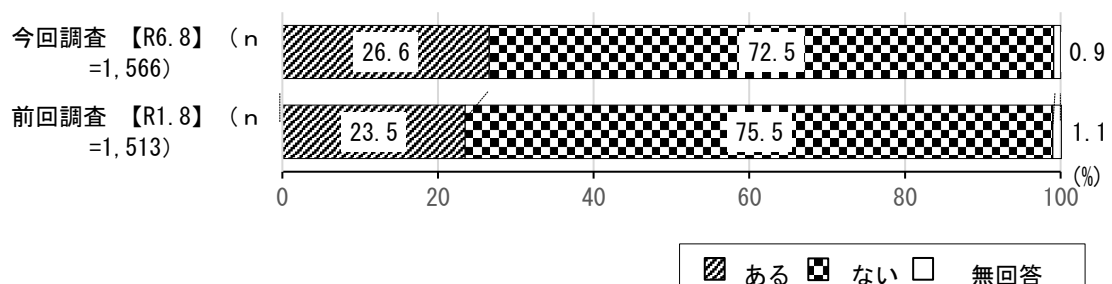
この5年間に、国内で人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなったと思うか、多くなったと思うか。



- ・「多くなってきた」が2割台後半となっている。
- ・前回調査と比較すると、「多くなってきた」は8.3ポイント高くなっている。

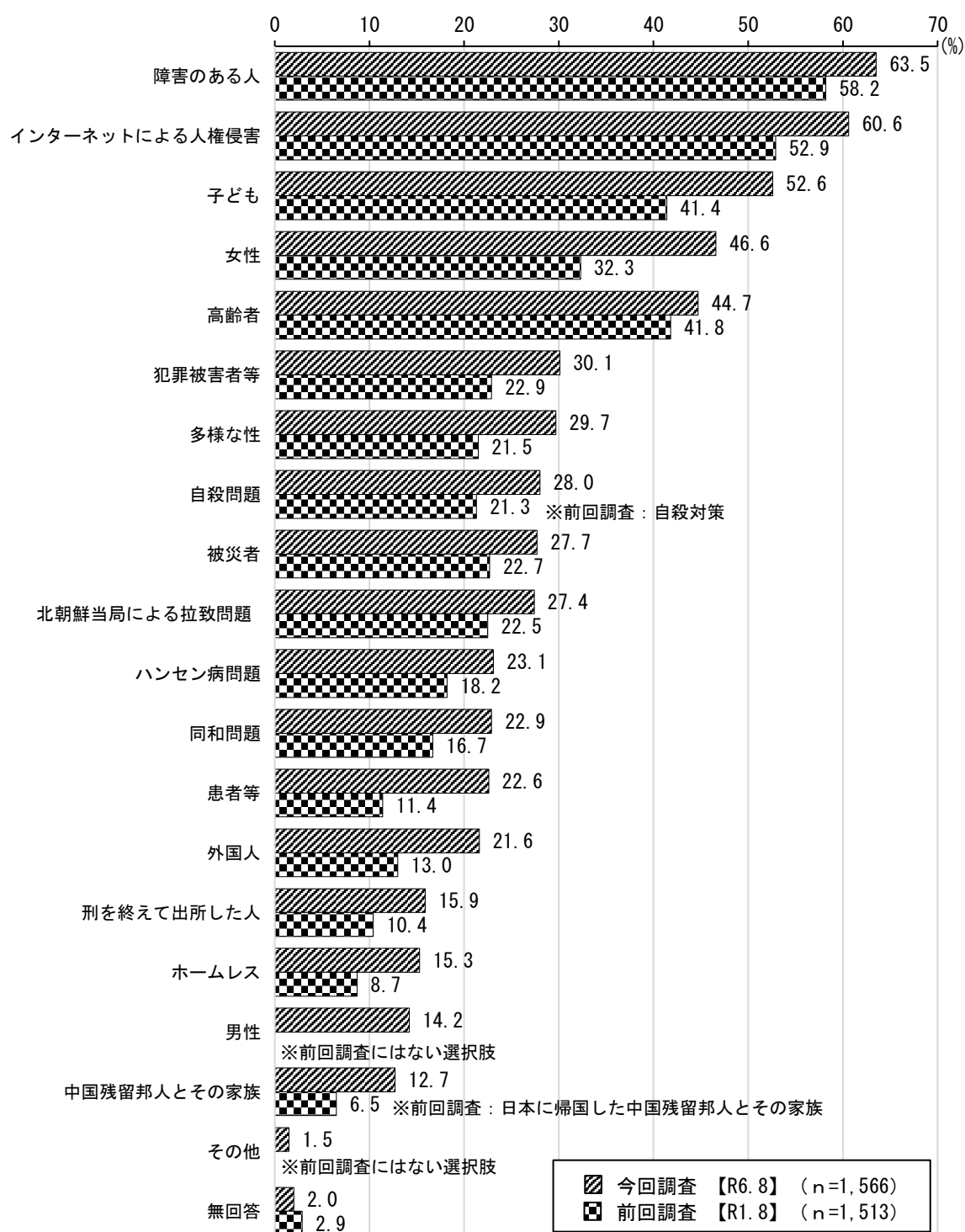
(2) 人権侵害の経験

今までに自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか。



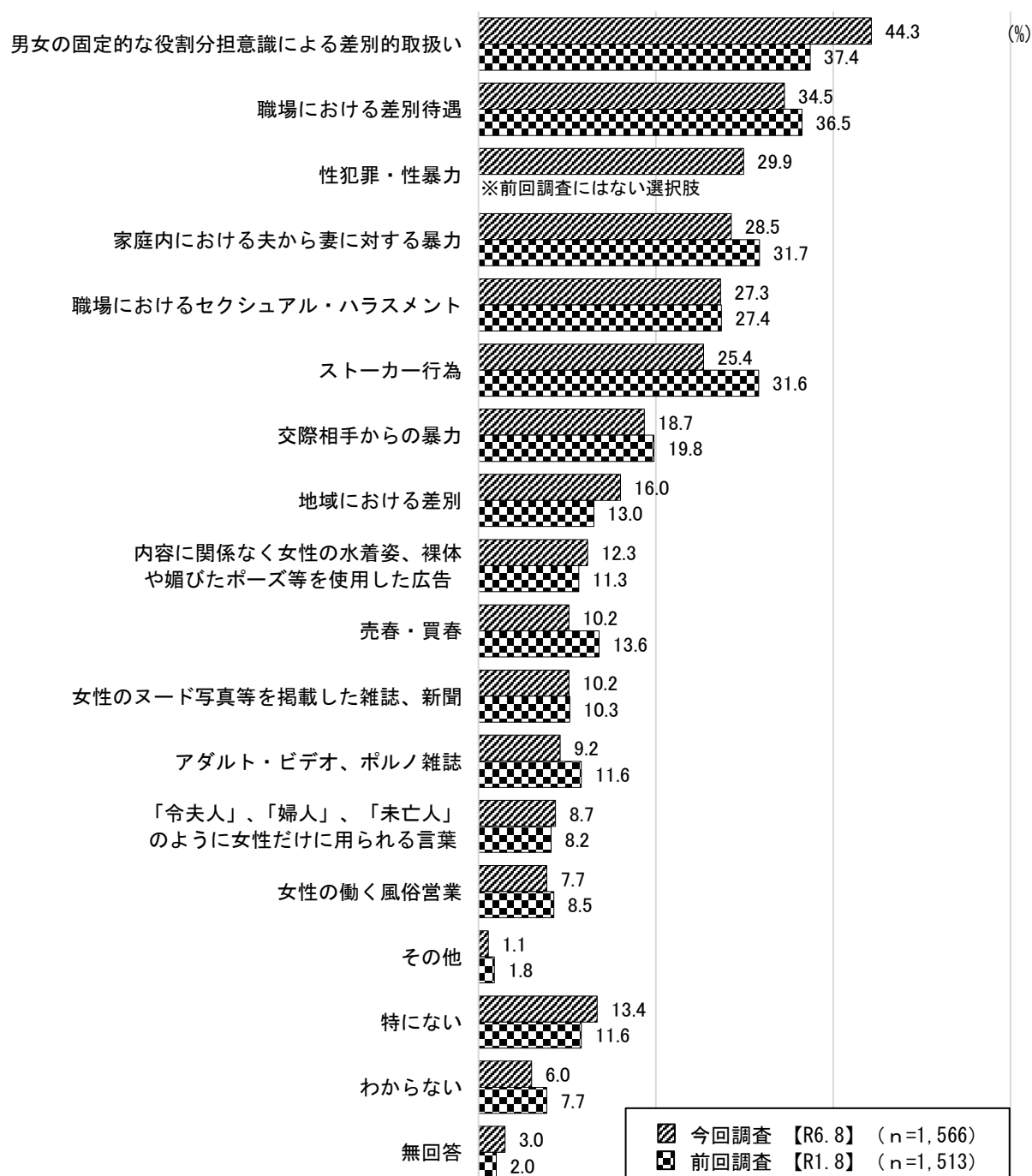
- ・「ある」が2割台後半、前回調査と比較すると大きな差はみられない。

(3) 重要だと思う人権問題



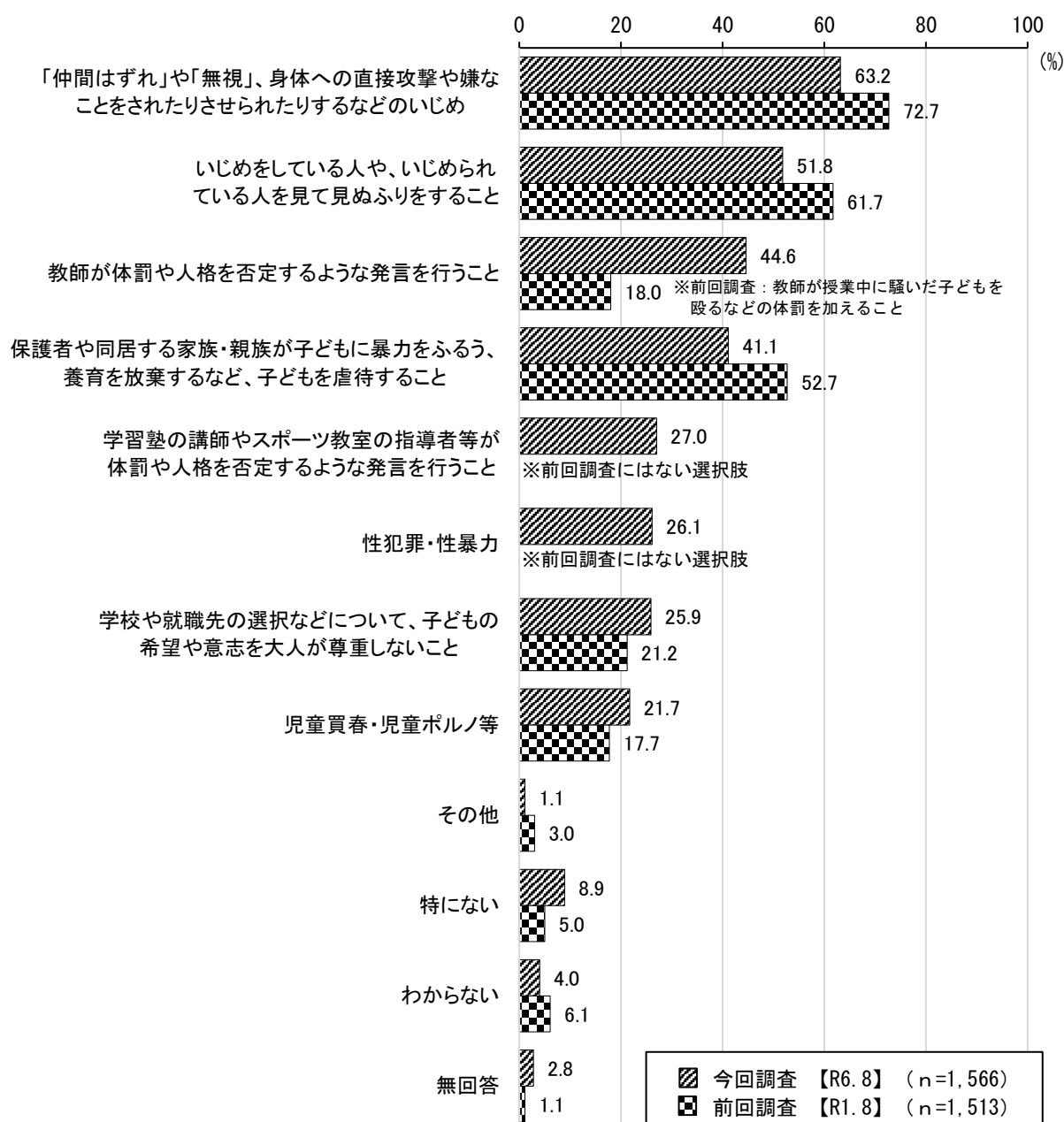
- ・「障害のある人」が63.5%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」、「子ども」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、すべての項目で高くなっており、特に「子ども」、「患者等」はともに11.2ポイント、「女性」は14.3ポイント高くなっている。

(4) 女性に関する人権問題だと思う事柄



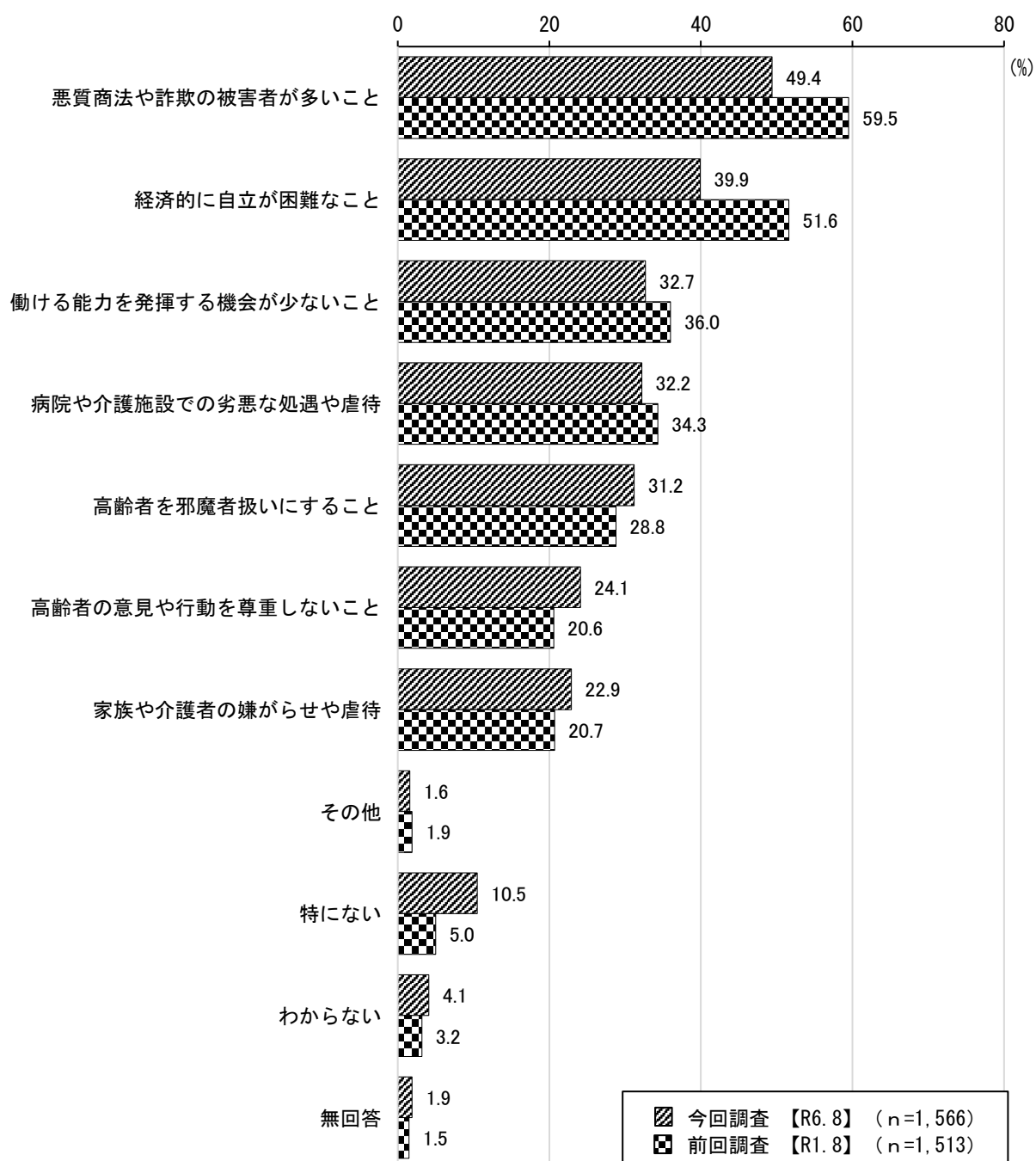
- ・「男女の固定的な役割分担意識による差別的取扱い」が44.3%と最も高く、次いで「職場における差別待遇」、「性犯罪・性暴力」、「家庭内における夫から妻に対する暴力」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「男女の固定的な役割分担意識による差別的取扱い」は6.9ポイント高くなっており、「ストーカー行為」は6.2ポイント低くなっている。

(5) 子どもに関する人権問題だと思う事柄



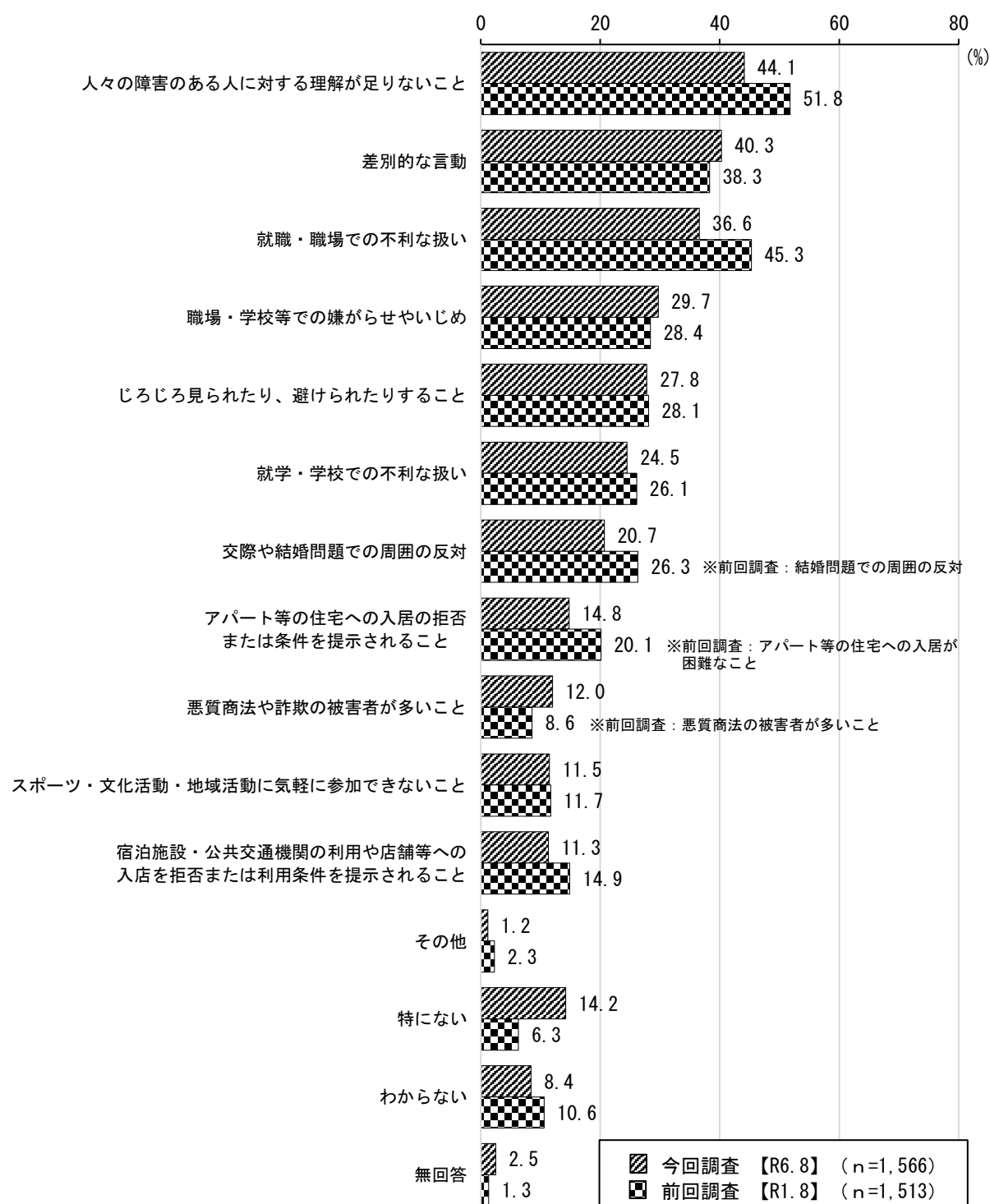
- ・「『仲間はずれ』や『無視』、身体への直接攻撃や嫌なことをされたりさせられたりするなどのいじめ」が63.2%と最も高く、次いで「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」、「教師が体罰や人格を否定するような発言を行うこと」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」は9.9ポイント、「保護者や同居する家族・親族が子どもに暴力をふるう、養育を放棄するなど、子どもを虐待すること」は11.6ポイント低くなっている。

(6) 高齢者に関する人権問題だと思う事柄



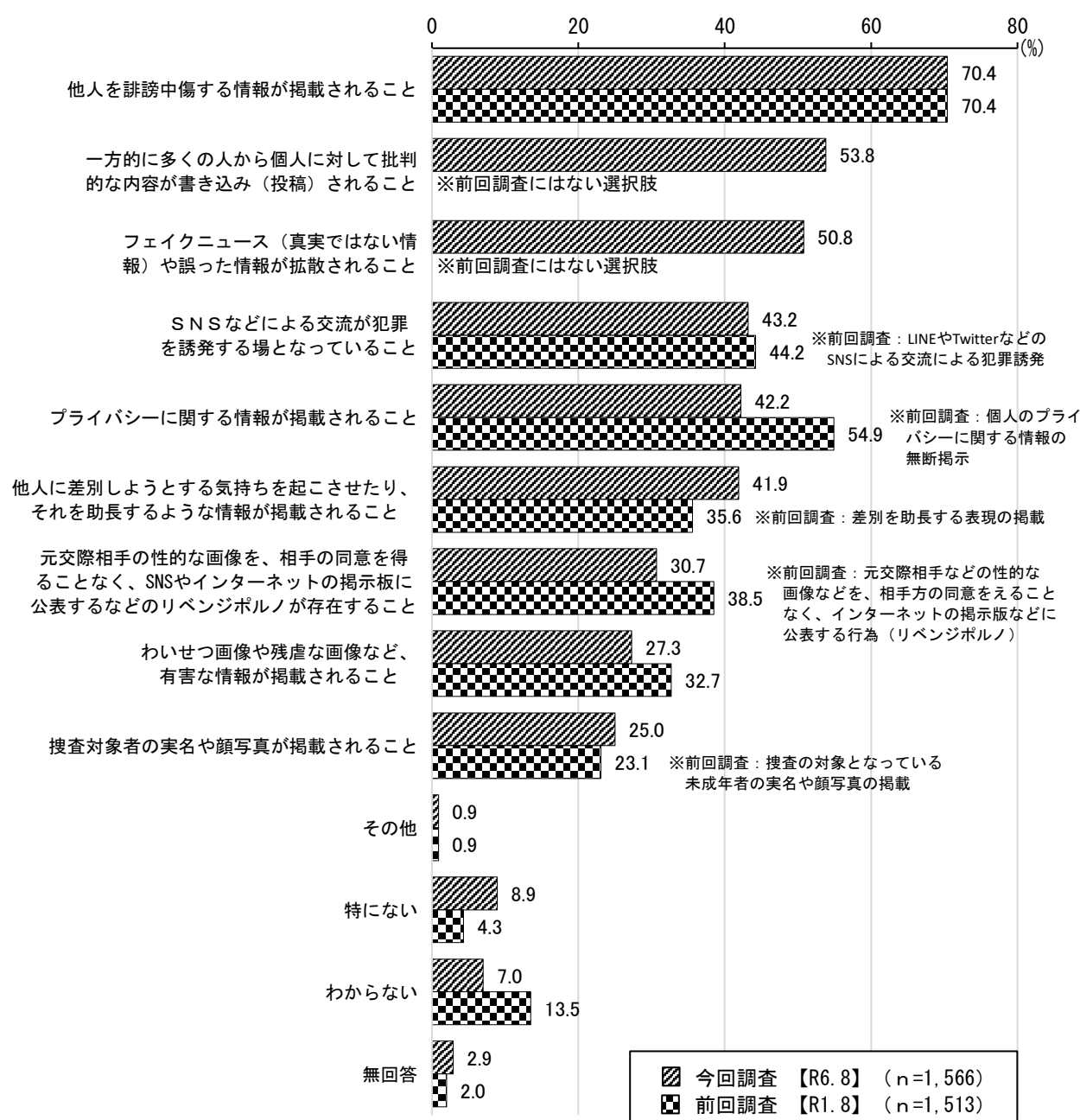
- ・「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」が49.4%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「悪質商法や詐欺の被害者が多いこと」は10.1ポイント、「経済的に自立が困難なこと」は11.7ポイント低くなっている。

(7) 障害のある人に関する人権問題だと思う事柄



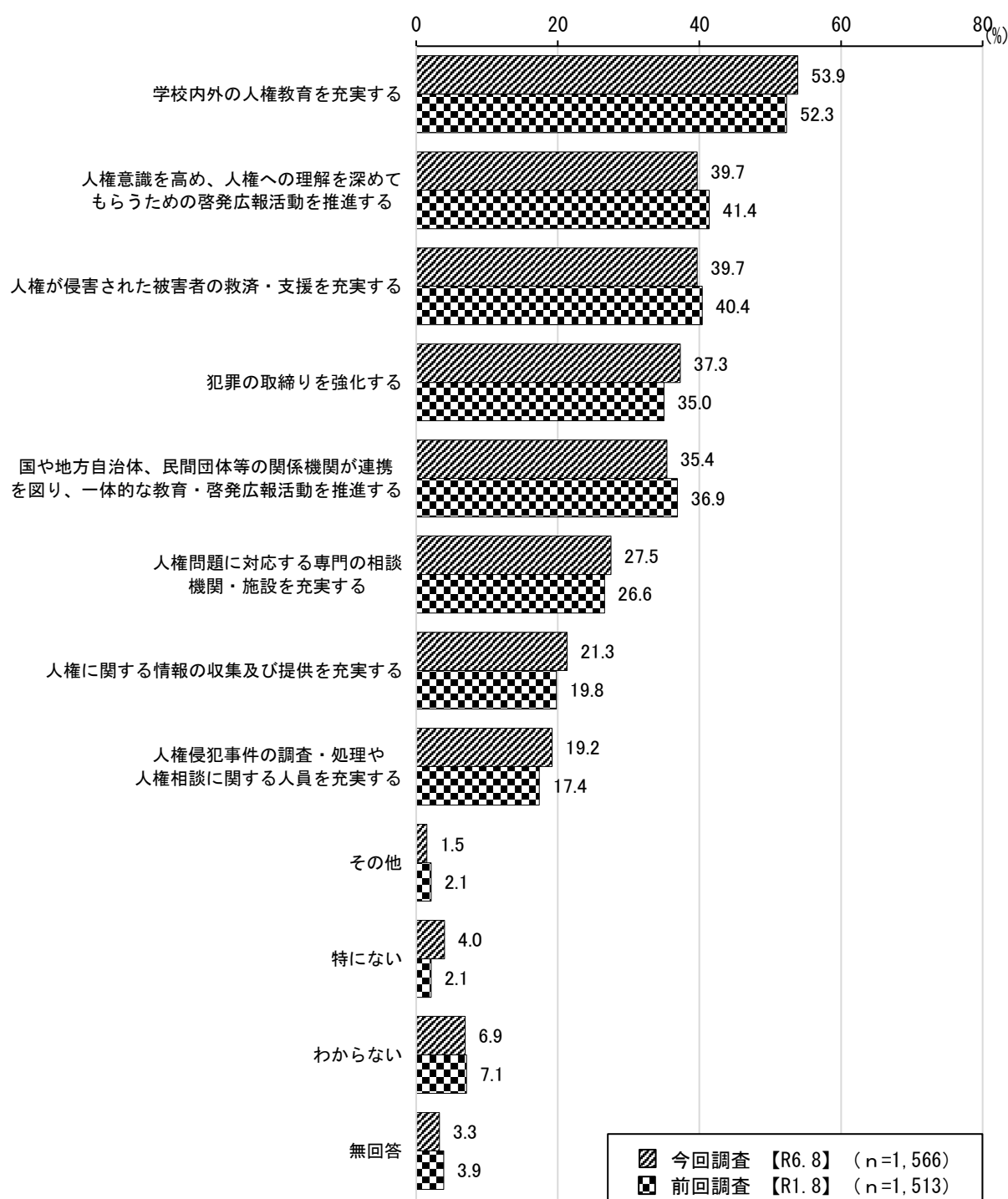
- ・「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」が44.1%と最も高く、次いで「差別的な言動」、「就職・職場での不利な扱い」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「人々の障害のある人に対する理解が足りないこと」は7.7ポイント、「就職・職場での不利な扱い」は8.7ポイント低くなっている。

(8) インターネットに関する人権問題だと思う事柄



- ・「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が70.4%と最も高く、次いで「一方的に多くの人から個人に対して批判的な内容が書き込み（投稿）されること」、「フェイクニュース（真実ではない情報）や誤った情報が拡散されること」の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「プライバシーに関する情報が掲載されること」は12.7ポイント、「元交際相手の性的な画像を、相手の同意を得ることなく、SNSやインターネットの掲示板に公表するなどのリベンジポルノが存在すること」は7.8ポイント低くなっている。

(9) 人権問題の解決のための方策



- ・ 人権問題の解決に向けて力を入れていけばよいと思うことについて、「学校内外の人権教育を充実する」が53.9%と最も高く、次いで「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、大きな差はみられない。